

A3471

2000系・南風 8両セット

予価:29,300円(税別)

JANコード:121528 カートン内入数:12

A3473

2000系・宇和海 5両セット

予価:22,500円(税別)

JANコード:121542 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1989(平成元年)、JR四国ではTSE「Trans Shikoku Exprimental(四国横断実験)」と呼ばれる試作車両を製造しました。世界初の制御付振り子を搭載したディーゼルカーとなりました。この試作車の結果を基に、翌年から量産が開始されたのが2000系気動車です。TSE同様の軽量ステンレス製車体が採用され、前面にはFRPによって丸みがつけられました。流線型の非貫通型と切妻の貫通型2種類の先頭車が用意され、旅客需要に応じてきめ細かな増解結を可能としています。車体外板にはJR四国のコーポレートカラーである水色の帯が巻かれ、前面ライト周辺には遠方からの視認性向上のため、警戒色となるイエローが塗られてアクセントになっています。1995(平成7年)からは最高速度を130km/hに向上させた「N2000系」が登場しました。N2000系は2000系をベースに、機関出力向上、台車変更、基礎ブレーキ変更などの改良が行われています。当初N2000系は2両が製造され、従来の2000系に準じた水色の帯で登場しました。前面貫通扉と側面客用扉が識別のために赤く塗装されていたのが特徴です。1995(平成7年)年の夏季臨時ダイヤでは高松運転所の2424が高知運転所に貸し出され、2458とともに活躍する姿が短期間見られました。

商品概要

- ・マイクロエース特急型気動車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト、愛称表示器点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付)
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

ステンレスボディにブルーの帯。N2000系は扉が赤



- ・貫通扉、客用扉が赤く塗られたN2000系量産先行車をセット
- ・1995年の夏季ダイヤで見られた2424、2458が共に組み込まれた姿

JR四国商品化許諾済

編成図 A3471



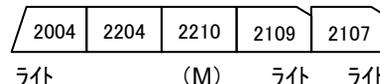
ステンレスボディにブルーの帯



- ・流線形先頭車のダミーカプラーは電気連結器付の姿

JR四国商品化許諾済

編成図 A3473



オプション

幅狭室内灯:G0005/G0006/G0007/G0008, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品

行先シール